

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	NPO 法人 頼娃おこそ会
役職	
氏名	福島 花咲里（かざり）
着任日	令和 2 年 2 月 1 日

活動月	令和 4 年 9 月（着任 32 ヶ月）
主な活動	1. 【頼娃町石垣】潮や、トークショーの配信サポート 2. 天狼院書店のライティング・ゼミに通っています。

1. 【頼娃町石垣】潮や、トークショーの配信サポート

9 月 19 日に頼娃町石垣にある「だしとお茶の店 潮や、」で開催されたトークショーの配信サポートを行いました。トークショーは、「産業としての歴史や背景、現状×アートの器としての魅力や可能性」をテーマに、有限会社若林印材の若林さんと、アーティスト・イラストレーターの篠崎さんが登壇されました。（潮や、Instagramより▼）



元々配信の予定はなかったようですが、前日に大型の台風が上陸した影響から、会場に来られなかった方向けに急遽決まりました。店舗のInstagram配信と合わせて収録しよう、ということで映像制作や配信業務をひとつの生業としているパートナーの鮫島と共に現地に向かいました。メインは鮫島が担当し、私はカメラやマイク、照明やモニターといった機材の準備を手伝いました。久しぶりの現場で準備時間もあまり無い中でしたが、なんとかスタートに間に合うことができました。



感染症の影響が納まりつつある中、リアルとオンラインを並行してイベントをすることが当たり前になりそうですね。トークショーの様子は潮や、のInstagramから見られるようなので、ぜひご覧くださいませ。（潮や、Instagram→ <https://www.instagram.com/sioya.store/>）

2. 天狼院書店のライティング・ゼミに通っています。

地域おこし協力隊卒業後の生業づくりの一環として、8月から東京に本店がある天狼院書店のライティング・ゼミに通っています。通っていますといっても、受講は基本的にオンラインで、毎週課題を提出し、それに対するフィードバックをもらいながら学びを深めています。

ライティング・ゼミでは、課題として2,000文字程度のフリーテーマの文章を提出します。そこで一定以上の評価をもらえると、天狼院書店の公式サイトに掲載され、自分の書いた文章を多くの人に見てもらう機会が生まれます。

8月からの受講で、最初の課題提出が9月5日。そこから毎週課題に取り組み、今まで6本の文章を提出してきました。その中で、最初の1本を除く5本の文章で一定の評価をいただき、公式サイトへ掲載されています。

元々文章を書く仕事をしていることもあり、2,000文字の文章を毎週提出することのハードルはそこまで高くないのですが、公式サイトへの掲載に値する文章となると「自分が書きたいことばかり書いていないか?」「この文章を読んだ人にはどんなメリットがあるか?」とかなり気を使います。直接評価をもらうのはドキドキしますが、おかげさまで以前より文章を作るのが上手くなっている感じがしています。1本の文章を仕上げるスピードも早くなりました。

6本書く中で少しずつコツも掴めてきたので、この調子で最後まで走り抜きたいと思います。良かったら天狼院書店の公式サイトから、ご覧くださいませ。

（天狼院書店公式サイト→ <https://tenro-in.com/?s=+福島かざり>）